

平成27年度入学者選抜学力検査問題（前期日程）

英語Ⅰ・英語Ⅱ リーディング・ライティング（出題の意図）

[1] 英語の読解力を問う問題。20世紀のアメリカにおいては、テレビの登場により、討論の在り方とその評価が、19世紀のものと比べて様変わりした。こうした趣旨の英文を読み、書かれている英文を正しく理解し、全体の内容がきちんと把握できているかどうかを問う。

問1 文脈に沿って下線部の内容を正しく理解できているかを問う。

問2 19世紀の長時間に及ぶ討論会に参加した聴衆の3つの特性を、本文に即して簡潔に自分の言葉で表現できるかを問う。

問3 文脈に沿って下線部の内容を正しく理解できているかを問う。

問4 本文全体の内容を正しく理解しているかどうかを選択肢を選ばせることによって問う。

[2] 英語の読解力を問う問題。現代におけるストレス低減法に関する文章を読み、書かれている英文を正しく理解し、全体の内容がきちんと把握できているかどうかを問う。

問1 文脈に沿って下線部の内容を正しく理解できているかを問う。

問2 文脈に沿って下線部の内容を正しく理解できているかを問う。

問3 シリコン・バレーで起こっているパラドックスについて、本文に基づいて、自分の言葉で説明できるかどうかを問う。

問4 本文全体の内容を正しく理解しているかどうかを選択肢を選ばせることによって問う。

[3] 和文を読み、その内容を英文で表現できるかどうかを問う。いずれも、文章全体の論理展開を踏まえた上で、下線部を適切な英語で表現できるかどうかを試す問題であり、文法知識や語彙力とともに、全体としての文章構成力を採点上のポイントとしている。

問1 鈴木大拙のエッセイからの一部を和文英訳する問い。

問2 小野雅裕のエッセイからの一部を和文英訳する問い。